

## 研究・調査報告書

分類番号	報告書番号	担当
C-169	21-338	慶應義塾大学 加藤眞三
<b>題名 (原題/訳)</b>		
<p>NCD Countdown 2030: efficient pathways and strategic investments to accelerate progress towards the Sustainable Development Goal target 3.4 in low-income and middle-income countries</p> <p>NCD Countdown 2030 : 低所得国および中所得国における持続可能な開発目標の目標 3.4 に対する進捗を加速するための効率的な方針と戦略的投資</p>		
<b>執筆者</b>		
NCD Countdown 2030 collaborators		
<b>掲載誌</b>		
Lancet 2022 Mar 26;399(10331):1266-1278. doi: 10.1016		
<b>キーワード</b>		<b>PMID</b>
SDGs、NCD、生活習慣病、所得		35339227
<b>要旨</b>		
<p>持続可能な開発目標 (SDG) 目標 3.4 は、非感染性疾患 (NCDs) による早期死亡を 2015 年から 2030 年までに 3 分の 1 に削減することを求めているが、ほとんどの国でその達成はあまり進んでいない。本保健政策ペーパーでは、今後 10 年間に主要な NCD による早期死亡を減少させることができ、かつ、あらゆる所得レベルの国々で実施可能な介入に関する証拠を総合的に示している。我々の提言は、123 の低所得国および中所得国が SDG 目標 3.4 を達成するための一般的なガイダンスとして意図されている。国レベルでの適用には、さらなる分析および地域の実施と利用の状況についての考察が必要である。現在の投資を保護し、これらの介入を拡大することは、COVID-19 に関連する医療システムの崩壊という状況において、特に重要である。我々は、費用対効果のデータやその他の情報を用いて、NCD 死亡率の減少率を加速させるために、現地に合わせた介入パッケージを定義する方法を示している。現実的な実施上の制約のもとでは、ほとんどの国がこれらの介入策を組み合わせることで NCD の目標を達成 (またはほぼ達成) することができ、最大の利益は心血管疾患死亡率において達成されるだろう。世界各地域で最も効率的な介入策を実施するには、2023 年から 30 年にかけて毎年平均 180 億米ドルの追加投資が必要である。この投資により、3900 万人の死亡を回避し、平均 2~7 兆ドル (一人当たり 390 ドル) の純経済利益を生み出すことができる。具体的な臨床的介入経路は国や地域によって異なるが、タバコの喫煙、アルコールの有害な使用、ナトリウムの過剰摂取といった行動上のリスクを軽減する政策は、ほぼすべての国に関連し、地域ごとに調整した NCD パッケージの健康増進効果のほぼ 3 分の 2 を占めると考えられる。2030 年までに、保健省は予算の約 20% を優先順位の高い NCD への介入に充てる必要がある。本報告書は、資金調達と保健システムの実施に関する考察、そして SDG ターゲット 3.4 以降、SDGs 期間を超えた NCD アジェンダに関する考察で締めくくっている。</p>		